

2015.6.27 生涯教育 栄養ケアプロセス

地域医療連携支援と栄養管理 色んな栄養連携に関して情報交換しましょう！の中のワールドカフェ テマ「一緒に考えられたらいいなと思うこと、思う人、色々」の共有です。

- ・自分の知らない仕事内容などを知ることができ、勉強になりました。これから高齢化が進むにつれ、嚥下の問題、連携のとり方が重要になると思いました。
- ・異なる職場の情報は楽しい
- ・違う職域の方の悩みは、これからの自分にも共通することだと思います。
- ・同じ栄養士でも役割が違うので色んな話ができて楽しかった。
- ・病院や施設の栄養士さんも地域の栄養士さんと繋がりがあればいいのに、と思ってもらえる場面があるということが分かって良かったです。
- ・自分の職域だけにこだわらず、栄養士として色々な経験をつむ事で、栄養士の仕事をもっと好きになれる。
- ・各職種での悩みを共有できるワールドカフェ形式を体験出来て良かったです。
- ・他の部会の方と話し合いができ、良い情報が得られよかった。
- ・地域活動されてる栄養士さんと話す機会がなかったので、どういことをされているかなど聞いてよかった。こういう働き方もあることを知った。
- ・活動場所を探している地域活動の方が多いことがわかった。その方たちの連携できればよいと思います。
- ・今日お会いできたこと。
- ・施設の実情は行ってみないとわからない。
- ・栄養士として地域の人とのかかわりができる可能性がまだまだある。
- ・栄養士は、もっと広い所で、いろんな事にいろんな場面で役に立てそう。でも、宣伝や営業が下手。
- ・栄養士は営業(会話、ボキャブラリー)が下手。人ともっと関わっていかなければならない。
- ・栄養士が活躍できる場はいっぱいある！
- ・学生です。立派な栄養士となれるように頑張ります。
- ・自分に合っている職場は体験しないと分からないと思う。正職員でなくても進路先として考えようと思った。
- ・問題を抱え、どうすればと思うならば、自身向上するための勉強が必要であるとあらためて考えさせられた。
- ・新人さんには、主語をつけて、1～10までを基本に根気よく！！
- ・人を教えるむずかしさ！実感！！
- ・自分ができることとやりたいことが一緒とは限らない。
- ・ちゃんと人間関係作っていくことが大切！！

- ・ちゃんとコミュニケーションをとってから実行しよう。
- ・ベテラン—新人、母—子、関係が似ている。
- ・職場で大切なこと 人間関係
- ・自分の仕事だけではなく、他の仕事を気にかける。
- ・栄養士同士での会話。
- ・人間関係。
- ・施設の中で栄養士間でのまとまりがないとのこと。我々自身の横のつながりがまず大事であると感じた。
- ・栄養士同士も足並みをそろえてから連携しないといけない？
- ・栄養士—栄養士、栄養士—多職種のスタッフ、すべての職員とのコミュニケーションが必要。
- ・職業以外の人とつながること。
- ・教えられたことだけじゃなく、もっと幅広く考える！
- ・栄養士ができることを見つける。やる！
- ・栄養士の資格も大切ですが、行動力や自分のできる範囲での積極性も大切だと思いました。
- ・栄養士さんのレベルアップ。
- ・スキルアップ、日々の勉強、最新の情報を取り入れていくこと。
- ・他の市町村は色々やっている。できてなくてごめんなさい。
- ・自分の意見を持って発言をしよう！
- ・栄養士同志、業種を超えたシェアワークが必要と思いました。
- ・在宅の方への栄養ケアなど、地域における栄養士の役割があるが、それをできる人材が不足している。栄養ケアステーションの充実が必要かと思う。
- ・栄養士同士の交流がいっぱいしたい。
- ・栄養士同士の交流の輪をもっと広げていけば、新しい連携がもっとスムーズにできるかもしれない。
- ・地域(在宅)と医療のつながりをもちたい場合に、誰と一緒に考えるとよいかという問いかけに、ケアマネージャーが適任だろうという話ができました。
- ・摂食・嚥下についての知識をもっと勉強したい。他分野の栄養士ともっと話したい。
- ・嚥下状態低下の方が多く、STさんの需要が高いことがわかった。当院にはSTがいてくれるので恵まれていると思う。より充実した嚥下食に発展させたい。
- ・シニア男性のひきこもりが多いとは、びっくりしました！
- ・那賀地域でやっている栄養サマリーのようなものが他の地域でもできたらいいと思う。
- ・栄養サマリーの普及は、栄養士だけからの提案では実現むつかしそうなので、那賀地域みたいに施設部会など関わり施設の了解必要。
- ・食事・栄養に関するサマリーは、とてもよいツールだと思った。 <文責 伊藤智子>

